

大切な住まいを守る

「最新工法」

従来型シロアリ
防除の悩みを解消！
薬をまかずに、
巣ごと根絶！！
人にも、
環境にもやさしい
工法って？



San Guard System

日本で生まれた白アリ防除法

サンガードシステム®



人と環境にやさしい、シロアリ対策を考える

ベイト工法普及会

A colorful illustration of a suburban scene. In the foreground, a large, stylized hand is holding a pencil, as if drawing the scene. The background features a yellow house with a green roof, two green trees, and a blue sky with a white cloud. A green speech bubble is positioned in the upper left, and a white thought bubble is in the lower right.

快適な住まいと、
住む人の笑顔。

家族の健康と、
大切なマイホームを守る。

ベイト工法普及会は時代が求めるシロアリ防除の本流、
「ベイト工法」で大切な住まいを守ります。

健康に、安全で、永く住める家。家族のよりどころとなる住まいを快適に保つためには様々な努力が必要です。建てた時は住みやすい快適な家でも、年月がたてば、雨もり・水もれ・外壁のひびわれなど生じてきます。そのなかでも気づかないうちに、家としての機能を脅かす家屋の大敵「シロアリ」。その被害から家を守るために、様々な防除技術が登場して来ましたが、根本的な「シロアリ」の根絶は不可能でした。しかし、ベイト工法普及会が提案して参りました薬をまかない工法は「シロアリ」の習性を利用し、巣から根絶させる工法で高い評価をいただき、さらに日本の風土に合った新製品「サンガード」を発表するに至りました。

「**サンガードシステム**」の特徴は、①徹底したコストダウンの実現

(生産・流通・販売・施工・管理の見直し)。

②日本の気候・風土に合った画期的なシステムです。

「快適な住まいと、住む人の笑顔。」は、ベイト工法普及会の願いです。



住まいの大敵 シロアリと 戦うための知識。

地中から忍びよる、
住まいの大敵「シロアリ」

体長数ミリにすぎない昆虫が、巨大な集団で家を破壊する。
あなたは、シロアリ被害の恐ろしさをご存知ですか。

日本のほぼ全土に生息しているシロアリ。大きく分けて2種類の「シロアリ」が分布します。この国の木造住宅をはじめ、すべての建物がその被害の危険にさらされています。シロアリは建材の小さな隙間からでも侵入してしまい、またその姿は目にふれにくいいため、食害に気づかないケースがほとんど。時には数百万頭にもなる巨大集団での加害により、驚異的な速さで食害が進行しています。



床下の大引がボロボロに。

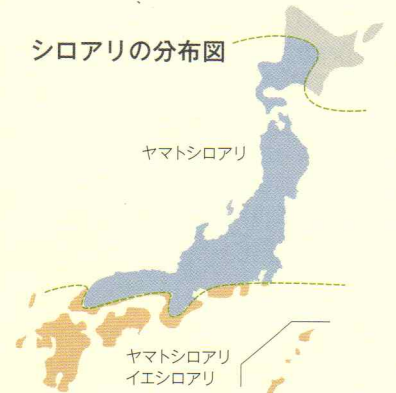


玄関上が被害に…



畳もボロボロ…

シロアリの分布図



ヤマトシロアリ(羽アリ) イエシロアリ(羽アリ)



一般的な シロアリ駆除の 問題点って？

薬剤散布すると
子どもが庭で遊べない。

大量の薬剤は
なんだか不安。

それでもやっぱり
シロアリがでる
再発も心配だ。

壁や柱に穴を開け
られたら困るな。

薬剤はニオイがきつい、
気分が悪くなる。

いままでの方法では
全滅できないの？

従来工法

**大量の殺虫剤を使う
「シロアリ消毒」は、やはり不安。
健康面への影響を気にされる方も多いようです。**

一般的な床下(60㎡)の場合、2ヘクタール(東京ドームのグラウンドの約1.5倍)のキャベツ畑にまかれる殺虫剤と同量の殺虫成分が散布されると言われています。



**薬剤散布による対処方法は
シロア리를根絶させる事はできません。**

現在、シロアリ防除の主流である「シロアリ消毒」は、床下に薬液を散布してシロアリの侵入を抑えるというもの、薬液がまかれていない箇所があると再侵入してしまうので、大量の薬液を高濃度で散布または、塗布しなければなりません。つまり対処療法。数年ごとに再散布の必要もあり、根本的な解決にはならないのです。



**やってくるシロアリに対してバリアーを張る
従来工法では、根本的な防除はできません。**

床下に殺虫剤を散布するのがいままでの防除工法。シロアリが家屋に侵入しないようバリアーをつくる工法で、根本的な防除法ではありません。地中のコロニー(巣)は温存され、殺虫剤はバリアーに隙間ができると再び侵入する危険性があります。



理想的な シロアリ防除の 方法って？

ベイト工法

壁や柱に穴をあけない

巣ごと丸ごと退治できる

薬をまかない

万全なアフターフォロー

人体・環境に安全である

安定した効果

1 新発想のベイト工法は、シロアリの習性を利用して巣ごと退治するシステムです。

シロアリは新たな餌場を見つけると、フェロモンによりそこに仲間を誘導する性質があります。ベイト工法はこの生態を利用。シロアリが好むように調整した薬剤を使用し、次々と薬剤を摂取させます。コロニー(巣)のシロアリ全体に薬剤を行きわたらせシロアリを死滅させる根本的な防除法です。

2 人やペットに、影響のない独自の薬剤を使用します。

ベイト工法で用いる薬剤の有効成分は、シロアリの成長を妨げる脱皮阻害剤。昆虫など脱皮する生物のみに作用するため、人はもちろん哺乳動物や鳥類などのペットにも安心。周辺環境にも悪影響を及ぼさないなど、高い安全性が確認されている薬剤です。

3 人やペットが直接触れることのない新手法で、使用する薬剤もごくわずかです。

薬剤は特殊な容器に納めて地中に埋め込まれますので、人やペットが薬剤に触れる可能性はほとんどありません。薬剤の使用量も、床下面積約80㎡の家で数グラムと、ごく微量、従来の工法と比べて、約1500分の1~2000分の1です。また使用済みの薬剤は、厳密な管理のもとに回収しますので安心です。

4 不安を感じる前に、将来にわたって予防できます。

シロアリの活動が活発になる前の予防処置をおすすめします。冬眠しないシロアリだから、お早めにご相談ください。

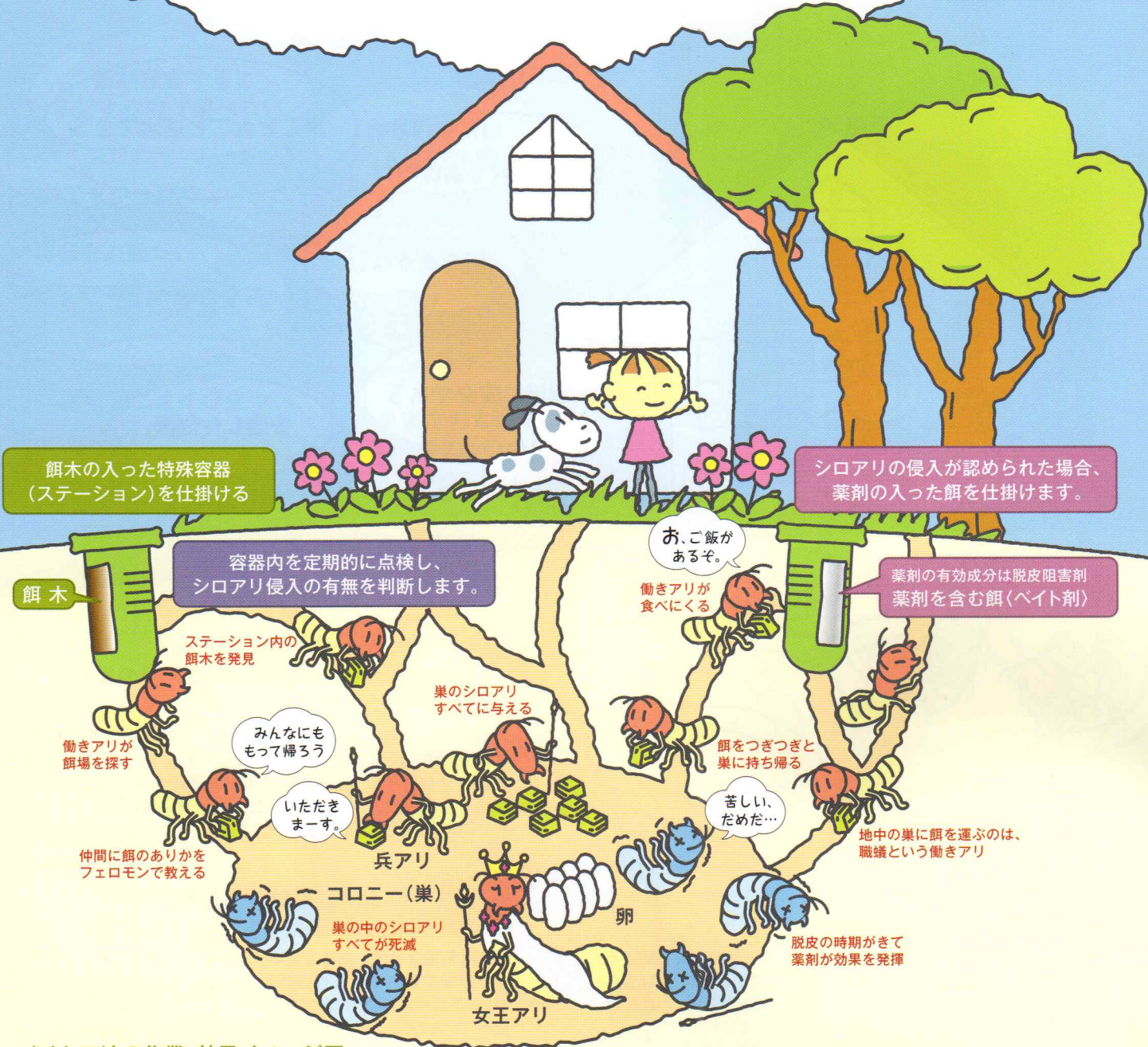
5 根絶したあとも、被害の再発をしっかりと防止します。

ベイト工法は建物にいるシロアリを駆除したのちも、新しいシロアリの侵入をしっかりと監視。



(薬剤散布)

従来工法と全く異なる コロニー(巣)を 根絶するシステム



ベイト工法の作業・効果イメージ図



じっくり効くから、根絶できる。

シロアリには、近くで仲間が死んだりすると、その原因となる危険を回避する警戒能力があります。しかし脱皮阻害剤は、シロアリに警戒心をもたせませんので、薬剤の効果が巣の中に十分行きわたり、根絶することができます。



ベイト工法とは…?

常識を変えたシロアリ防除

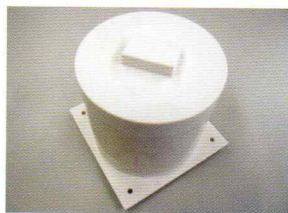
ベイト工法をひと言でいえば、巣ごと根絶する工法です。シロアリの習性を利用した最低限の薬剤で最大の効果を実現します。

- ◎ 調査(モニタリング)
- ◎ 根絶(ベйтиング)
- ◎ 予防(再モニタリング)の3ステップで管理していきます。

ベイト工法(サンガードシステム)で使用する器材



土壌用ステーション
(コンクリート用ステーション)
用途/建物外周の土壌(コンクリート)部分に埋め込む容器です。



ダイレクトステーション
用途/被害箇所 directly 取付ける容器です。



餌木
用途/ステーションに仕掛けるシロアリの餌となる木(アスペン材)



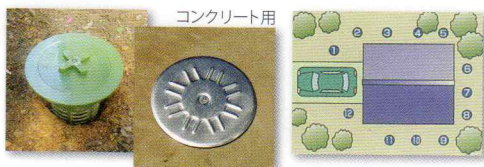
ベイト剤
用途/ロール状に巻いたシロアリの脱皮を妨げる毒餌です。

設置

ステーション設置

独自のツールを家の周辺にセットします。

専門の施工技術者が、床下や屋根裏、庭木など、シロアリによる食害状況や活動範囲をあらかじめ調査。その上で、ステーションを設置します。



1 STEP

モニタリング(定期点検)

シロアリの活動状況を調べます。

ステーションに納めたモニタリング・デバイス(餌木)を定期的に点検して、シロアリの存在や食害の有無などを確認します。

※点検の状況は、毎回報告書(写真添付の場合もあります。)にて提出しますので、お留守のときや長期外泊でも安心です。



2 STEP

ベйтиング(薬品と交換)

シロアリを確実に根絶します。

シロアリの存在を確認したら、餌のように調製した薬剤の入ったベイトカップを設置。シロアリのほとんどが薬剤を摂取して、数か月でコロニー全体が死滅します。



3 STEP

再モニタリング(定期点検)

新たな被害を未然に防ぎます。

シロアリの死滅後も、再モニタリングを行い、新たな侵入がないかを引き続き監視、侵入があるとすぐにベйтиングに移り、駆除へ。

※新たなシロアリの侵入があっても契約後の追加料金請求はございません。



施工から管理を専門知識を持ったスタッフが、責任を持ってサポートいたします。

シロアリの生態に関する知識はもちろん、ベイト工法の認定資格を備えた専門のスタッフが施工、管理をフルサポート。安心してお任せいただけます。





日本で生まれた白アリ防除法
San Guard System

取扱店 _____

人と環境にやさしいシロアリ対策を考える
ベイト工法普及会